

管内の大型土木工事の現場巡視を行いました。

令和六年十二月 平塚労働基準監督署

平塚労働基準監督署は、管内の工事発注機関（県・市・町・中日本高速道路（株）等と構成する平塚地区建設工事関係者連絡会議（以下「連絡会議」という）において「安全に配慮した発注の促進」等の問題を共有し、建設工事における労働災害の一層の減少に努めています。

今回、連絡会議の活動として、構成機関の担当者・事務局など合計二十五人で、平塚労働基準監督署管内の大型土木工事現場の巡視を実施しました。

工事現場の概要

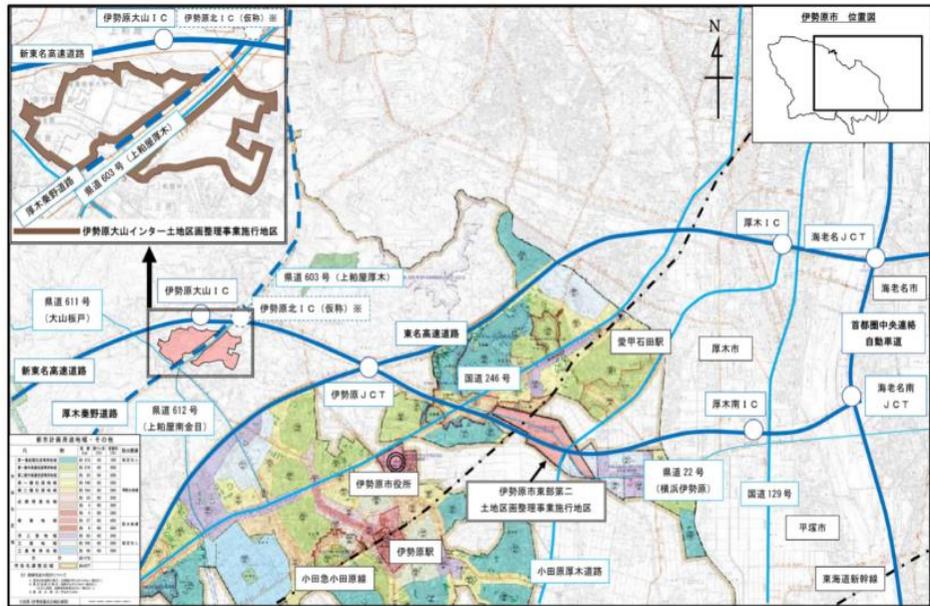
伊勢原大山インター土地画整理組合
伊勢原大山インター 首都圏土木支店
伊勢原大山インター 伊勢原市上粕屋字久保上ほか
約二十三ヘクタール
令和三年五月一日から令和九年八月三十一日まで

伊勢原大山インター土地画整理事業について

公開日 2021年03月26日
更新日 2024年10月11日

本地区は、市の北西部に位置し、小田急小田原線「伊勢原駅」から北西約3キロメートルの地点にあり、地区北側には新東名高速道路伊勢原大山インターチェンジが近接しています。
また、地区中央には、県道603号や事業中の厚木秦野道路(国道246号バイパス)が縦断することから、交通利便性の更なる向上が見込まれるエリアに位置しています。
こうした広域幹線道路の整備効果を生かした新たな産業用地の創出を目的として、令和3年1月8日付けで神奈川県知事から伊勢原大山インター土地画整理組合の設立が認可され、組合施行による土地画整理事業が開始されました。
インターチェンジに近接する立地特性を生かした産業拠点として、区画道路や公園、調整池などの公共施設の整備改善とともに、新たな産業系市街地の形成が進められていきます。

伊勢原市ホームページより引用



※厚木秦野道路のインター名称は仮称です。

写真① 現場所長より説明を受ける参加者

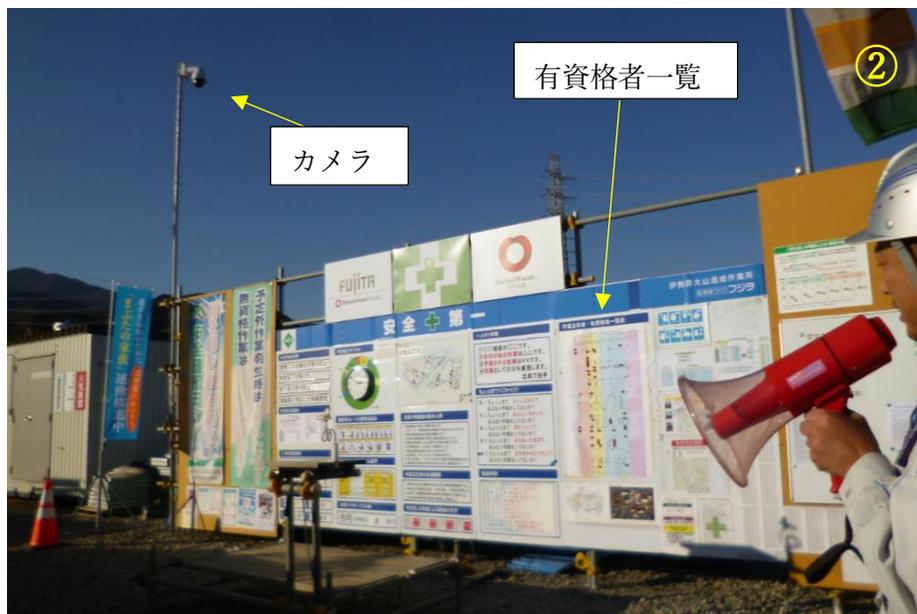


現場の巡視に先立ち現場事務所にて、現場所長より「伊勢原大山インタ―に近接した地域において交通便利性を生かした産業系土地利用のための土地区画整理事業」との工事概要の説明を受けました。

下請業者との作業の打ち合わせに用いているアレンジメントシステム（翌日の現場内の作業を見える化し、効果的に周知を行っています）や現場内に複数カメラを設置し現場状況の把握、作業者の不安全行動の監視を図っていること、工事の発注者の土地区画整理組合（地権者）との調整等の労働災害防止に関する取り組みの紹介がありました。

また、株式会社フジタ安全本部兼首都圏土木支店安全全部部長より、労働者教育に重きをおき、支店による各現場における安全パトロールの報告会や安全衛生活動の好事例の水平展開、各現場のリアルタイムの映像確認時の支援、助言などこちらも見える化を意識し、安全本部が現場と一体となって安全に工事を行い、当工事においては無災害（休業災害なし）で進ちよくしているとの説明がありました。

現場が広域なため、カメラ映像にて、離れた場所に配置したもう一つの朝礼場所とつないでいます。



写真② 朝礼場所にて日々の安全活動を確認

今後も平塚労働基準監督署は、公共工事等の発注機関との連携強化に努めてまいります。



写真⑥

現場内、歩車分離のための安全通路



写真③ 休憩場所・男女別トイレの説明を受ける
安全衛生課長ほか参加者。熱中症対策も確認。



写真④、⑤

車両系建設機械による災害防止対策

